

フランス語、ポルトガル語、日本語、トルコ語の対照中間言語分析 第6回研究会 個別研究とデータベース化

日時：2018年8月28日(火) 9:00~17:00

場所：名古屋外国語大学 8号館 831教室

プログラム (最終版)

9:00~ 9:30 2018年度の進捗報告

川口 裕司 (東京外国語大学)

9:30~10:00 中間言語分析用 Web ページ画面案

梅野 毅 (東京外国語大学)

10:00~10:30 Web ページデモンストレーションと質疑応答

川口裕司・梅野 毅 (東京外国語大学)

10:40~11:20 トルコ語学習者の音声分析に向けて /r/音の変異形

川口 裕司 (東京外国語大学)

昼食

13:00~13:40 学習者の社会言語学的能力の横断的分析、学習者の発話に観察されるリエゾン为例に

近藤 野里 (名古屋外国語大学)

13:40~14:20 日本人フランス語学習者における *c'est* の使用形態の変化について

谷澤 まどか (名古屋外国語大学)

休憩

14:30~15:00 ポルトガル語学習者の言語分析(進捗状況報告)

水沼 修

15:00~15:30 *après* と「あと」の談話機能の違い—学習への示唆

秋廣 尚恵 (東京外国語大学)

15:30~16:00 フランス語学習者における «*C'est*» のディスコースマーカー的使用

杉山 香織 (西南学院大学)

16:00~16:30 「1つのアクセント句を形成する複数文節の統語的關係:

主要部の位置と *dephrasing* 生起の関連性」

布村 猛 (東京外国語大学)

休憩

16:40~17:00 全体討論、今後の予定